

## 令和7年度 港区立高輪幼稚園 自己評価及び学校関係者評価結果報告書

- 1 実施期間 令和7年12月1日（月）～12月12日（金）
- 2 評価者 保護者（1家庭1回答） 回答率100%（49家庭）  
学校運営協議会委員 回答率 90%（9名／全10名）
- 3 内容 全20項目
- 4 結果 ※保護者による評価は割合で、学校運営協議会委員による評価は実数で表示。

### (1) 幼稚園運営（6項目）

- A 達成している    ● C あまり達成していない    ● E わからない  
● B 概ね達成している    ● D 達成していない

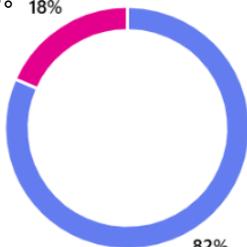
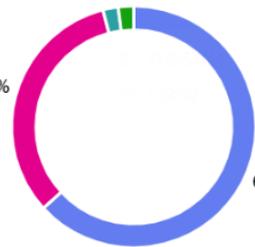
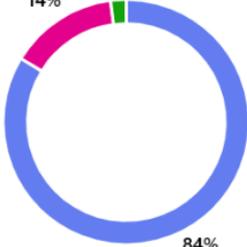
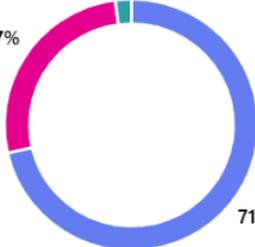
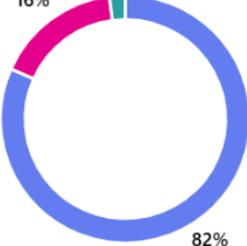
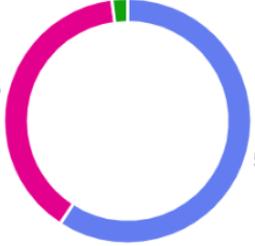
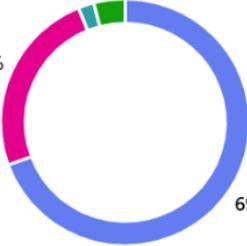
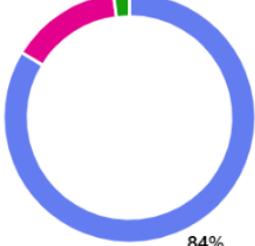
<p>1. 幼稚園の経営方針は分かりやすい。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>	<p>2. 幼稚園の取組や子どもの様子がよく分かる。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【学校評議員】 A：6名 B：3名</p>
<p>3. 電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>	<p>4. 幼稚園は、PTAの活動の場を大切にし、保護者や地域と協力して子どもの体験が豊かになるようにしている。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【学校評議員】 A：5名 B：4名</p>
<p>5. 地域の小学校や中学校の児童・生徒との交流や、施設の活用を積極的に進めている。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【学校評議員】 A：8名 B：1名</p>	<p>6. 子育て支援のために、未就園児の活動や子育てサポート保育の充実に積極的に取り組んでいる。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>

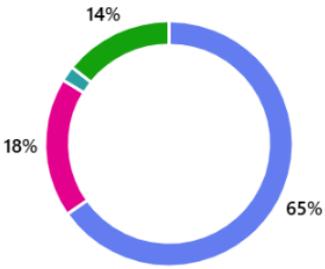
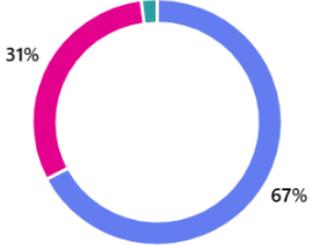
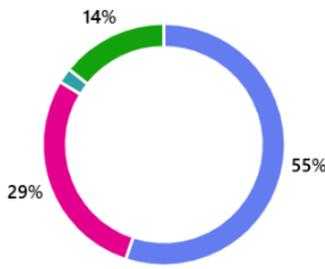
#### 【分析及び今後の方向性】

- 全項目において、95%以上の肯定的評価（A・B）を得た。
- 特に項目2・3については、100%の肯定的評価だった。情報の発信や、保護者・地域の方に寄り添った丁寧な対応については、今年度園としても重点的に取り組んだことであり、取組の成果として捉えている。
- 項目4・6については、保護者、地域や教育委員会等と連携しながら、取組の充実と保護者の負担軽減の両立を図っていく。

(2) 教育内容・指導（11項目）

- A 達成している
- B 概ね達成している
- C あまり達成していない
- D 達成していない
- E わからない

<p>7. 子どもが自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にした教育を推進している。18%</p>  <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>	<p>8. 子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にしたい学級づくりをしている。</p>  <p>【学校評議員】 A：5名 B：4名</p>
<p>9. 子どもが十分に体を動かして満足感を得られるような体験ができるようにしている。</p>  <p>【学校評議員】 A：6名 B：3名</p>	<p>10. 集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育をしている。</p>  <p>【学校評議員】 A：4名 B：5名</p>
<p>11. 子どもが生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。</p>  <p>【学校評議員】 A：8名 B：1名</p>	<p>12. 小学校への就学を見通した教育内容として、聞くこと話すこと、友達との関わり等を大切にしている</p>  <p>【学校評議員】 A：5名 B：3名 E：1名</p>
<p>13. 異年齢の育ち合いや関わり合いを大切にした教育を進めている。</p>  <p>【学校評議員】 A：7名 B：1名 E：1名</p>	<p>14. 様々な行事の中で、子どもたちが楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。</p>  <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>

<p>15. 園内研究・研修を実施し、その成果を保育の充実に反映している。</p>  <p>【学校評議員】 A：6名 B：1名 E：2名</p>	<p>16. 日常の遊びや生活の中で、国際理解の意識の芽生えを培う教育を推進している。</p>  <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>
<p>17. ICT 機器を活用して、子どもたちの体験をより豊かにする取組をしている。</p>  <p>【学校評議員】 A：7名 B：2名</p>	

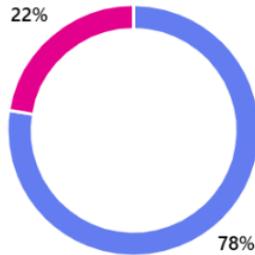
#### 【分析及び今後の方向性】

- 11項目中8項目において、95%以上の肯定的評価を得た。
- 特に項目7については、肯定的評価が100%だった。子どもの主体的な「遊び」を通じた教育について、ご理解、評価いただいていることは、園としても心強い。
- 肯定的評価が95%に達しなかった3項目については、「わからない」という回答が一定数あった。特に項目15・17については、14%が「わからない」と回答しており、園からの情報発信に課題が残った。また、A評価の割合も70%以下であり、情報発信とともに取組の充実も図っていく必要がある。
- 肯定的評価が95%以上だった項目でも、項目8・12・16はA評価の割合がやや低かった。子ども一人ひとりの思いを大切に、誰一人取り残さない学級づくり・園経営を徹底するとともに、修了までの3年間を見通して各学年の発達段階に合わせた指導を充実させて、子どもたちに聞く力・話す力、友達と関わる力を着実に育てていく。
- 項目16については、ネイティブ・ティーチャーによる活動や、外国にルーツのある子ども・保護者が身近にいることを生かした取組を一層充実させて、子どもたちの国際理解の意識の芽生えを培っていく。

### (3) 安心・安全 (3項目)

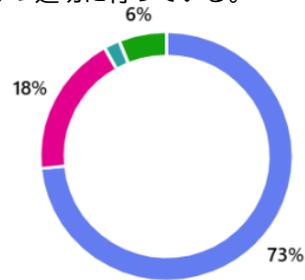
- A 達成している ● C あまり達成していない ● E わからない  
● B 概ね達成している ● D 達成していない

18. 幼稚園内や園庭の清掃など、環境整備が行き届いている。



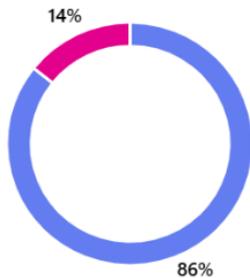
【学校評議員】 A：8名 B：1名

19. 施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。



【学校評議員】 A：7名 B：2名

20. 子どもたちが安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。



【学校評議員】 A：7名 B：1名 E：1名

#### 【分析及び今後の方向性】

- 項目18・20については、肯定的評価が100%だった。引き続き、環境整備や子どもたちの安心・安全な生活のための取組をしっかりと行っていく。
- 項目19については、情報発信の機会が少ないことが「わからない」という回答につながっていると思われる。保護者が安心して子どもを預けられるように、点検・整備を実施し、定期的に報告するようにする。

令和7年度学校評価 子どもアンケート結果について

【設問1】全園児対象（12月に実施）

園庭で何をして遊ぶのが好きですか。（全員回答、複数回答可）

種類	内 容	3歳児	4歳児	5歳児	計
固定遊具	砂場	0	3	6	9
	がたがた滑り台	1	2	4	7
	雲梯	0	0	4	4
	鉄棒	0	0	3	3
	登り棒	0	0	1	1
運動	ドッジボール	0	0	9	9
	鬼ごっこ（氷鬼・バナナ鬼ほか）	0	4	1	5
	走る・追いかけっこ	1	1	1	3
	長縄跳び・短縄跳び	0	2	0	2
ごっこ他	警察ごっこ	5	1	0	6
	ねごっこ・ねずみごっこ	3	0	0	3
	電車ごっこ	0	0	2	2
	泥棒ごっこ	1	0	0	1
	料理ごっこ	1	0	0	1
	バブちゃんごっこ	1	0	0	1
	バレエごっこ	0	1	0	1
	おうちごっこ	0	0	1	1
	スターウォーズごっこ	0	0	1	1
	かくれんぼ	1	0	0	1

【設問2】4、5歳児対象（12月に実施）

幼稚園にあったらいいなと思うもの、こんなことができたらいいなと思うことがあれば教えてください。（自由回答）

種類	内 容	4歳児	5歳児	計
施設	ブランコ	0	5	5
	公園にあるようなツルっとした滑り台	1	0	1
	プールと水鉄砲がいつもあるとよい	1	0	1
	サッカーゴール	0	1	1
	芝生の庭	0	1	1
	ドングリの木（別の種類）	0	1	1
遊具	人が乗れる乗り物・電車	0	2	2
	トミカ	1	0	1
	大きな工作（段ボール工作）	0	1	1
	ままごと道具がたくさんあったらよい	0	1	1
他	新しい友達が来たら遊びたい	1	0	1

【分析及び今後の方向性】

- 設問1については、学年が低いほど「今」楽しんでいることを回答していた。固定遊具や運動遊びだけでなく、ごっこ遊びも園庭で楽しんでいる。また、個人で挑戦・探究する遊びと、友達と一緒に楽しむ遊びの両方があることから、教師が意図的・計画的に環境を構成した中で、子どもたちが様々な体験を積み重ねていることが分かった。
- 設問2については今後、子どもたちの思いを改めてよく聞き取り、子どもたちと一緒に実現の可能性を追究していく。